

私の決意

私は、開戦直前に横浜市で生まれました。父は勤め先の工場で、東京大空襲に遭い亡くなりました。三十代の若さでした。その後、静岡県に移住し、高校を卒業しました。

現在、安倍政権は、安保法制(戦争法)を強行し、軍事費を過去最大に膨らませ、沖縄県では県民の心を踏みにじって新基地建設の強行に走っています。しかし、「戦争だけは絶対おこさない」という世界の人々の思いは強く、核兵器禁止条約の採決や、朝鮮半島の非核化に向けた平和の激動が始まっています。安倍政権の、他国の脅威をあまりたてるやり方は時代遅れです。

国会では、隠ぺい・改ざんが横行し、不誠実な政治家の勝手放題のありさまに多くの国民が怒っています。日本共産党の地方議員の一人として、何としても平和憲法を守り、一人ひとりの暮らしを守るために奮闘する決意です。

私は高校卒業後に銀行に就職し、四十二年間務めました。日本共産党員であるというだけで、ずいぶん辛い目にも遭いました。「立っているのが仕事だ」と言われ、一日中、上司の机の横に立たされたこともありました。

その当時とは違いますが、現在の労働者も、多くの苦難を知らず知らずのうちに強いられています。不安定雇用や長時間勤務、サービス残業・・・安倍政権は「残業代ゼロ」法を強行しましたが、若者たちが安心して暮らせる社会とは程遠い実態があります。

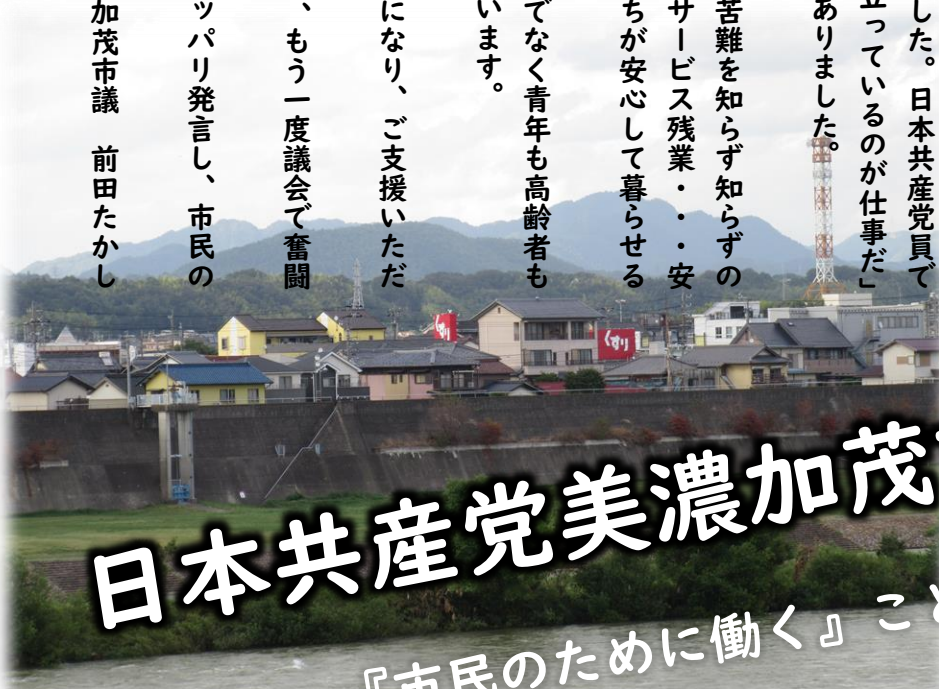
私は、額に汗して働く人々を尊敬し、労働者だけでなく青年も高齢者もみんなが幸せに生きる社会に変えることが必要だと思っています。

美濃加茂市で市議会に送っていただいていたから十二年になり、ご支援いただいたみなさんに心から感謝しています。

少し年齢を重ねましたが、「すぐ動く」をモットーに、もう一度議会で奮闘する決意をいたしました。

国政に対しても、市政に対しても、市民の立場でキツパリ発言し、市民のために働く決意です。

日本共産党 美濃加茂市議 前田たかし



日本共産党美濃加茂市議団の実績

『市民のために働く』ことを貫いて実現

4年間で、みなさんと力を合わせて実現

- 75歳以上の世帯と難聴地域に防災ラジオを貸与
▽伊深、三和の難聴地域に貸与
- 新入学児童・生徒の就学援助費を前倒し支給
▽当年7月支給から、前年12月支給へ改善
- 就学援助受給の場合、学校給食費は全額無料
▽就学援助対象でありながら受給しない方もあり、今後の課題です
- 国民健康保険料の値下げ
▽一人当たり1万5193円、一世帯当たり2万8150円値下げ

防災ラジオ無償貸与 が実現

◇ 2018年8月
美濃加茂市議会第3回定例会
市長が表明

- 命にかかわる情報の提供は全市民に
- ◆ 希望のある全世帯に無償貸与することになります
 - ◆ 市民と共産党市議団の長年の要求が実現しました

これまでに実現

- 子ども医療費(中学卒業)の無料化
- 小中学校にエアコンを設置
- 週3回のゴミ収集(夏期)
- 住宅リフォーム助成制度実現

